



SAMS Information

The University of Tokushima Graduate School, Institute of Health Biosciences,
Support Center for Advanced Medical Sciences (SAMS)

No. 58
2011/11/24

第77回 HBS研究部 先端医研テクニカルセミナー

ウエスタンブロットにおける定量のための改善法

総合研究支援センター 先端医療研究部門では、皆様の研究にお役に立つようなテクニカルセミナーをシリーズで開いております。

今回は、抗原抗体反応を利用したウエスタンブロッティングの実験手法について、問題点や改善法さらに、新製品をまじえた実験手法についてお話しいただきます。

是非とも多数の皆様のご参加をお願いいたします。

日 時	: 平成23年12月9日(金) 16:00 ~ 17:00
場 所	: 第一カンファレンス室(医学部基礎A棟1階)
講 師	: バイラット・ラボラトリーズ株式会社 アカウントマネージャー 池田 充

プログラム

16:00 ~ 16:05	はじめに	先端医療研究部門長	佐々木 卓也
16:05 ~ 17:00	ウエスタンブロットにおける定量のための改善法		池田 充

概 要

ウエスタンブロッティングの実験手法では電気泳動、ブロッティング、免疫染色(化学発光含む)という手法の組み合わせですが、個々がうまくいっているかという確認は、時間や行程の大幅な増加を伴うため行われていないのが実情です。また定量の際にも目的のサンプルに対するハウスキーピングプロテインでの補正を行うことが多いですが、ハウスキーピングプロテイン自身の部位による発現量の変動、リハイブリ等により複数回実験を行う必要がある等、問題点も多く残っています。

Bio-Radでは定量時に必要な実験の流れや改善法とともに、新製品ステインフリーゲルを用いたV3 (visualization, verification, validation) アプリケーションをご紹介します。これらより、より簡便で正確なウエスタンブロッティングの定量化を先端医研に納入済みの GelDocEZ も活用した実験手法も紹介をいたします。また、この実験をより簡便にするための新しいイメージアナライザーのご紹介もさせていただきます。